

SS 研システム技術分科会 2020 年度会合 「DX 時代の、真のデジタル化に向けて ～法律面を含む諸問題の検討～」

～SS 研会員機関にご所属の方なら、どなたでもご参加いただけます～

■ 日時：2021 年 1 月 20 日(水) 9:00～12:40

■ 場所：オンライン開催 (ZOOM ウェビナー)

■ 開催趣旨

現在、ICT の普及、高度化、また、様々な分野での人工知能(AI)の高度化とその利用、新たな 5G の導入、車の自動運転、クラウドサービス利用の推進などデジタル技術がさらに進化し、それに伴って多くの組織が「新たな社会的価値を創造し価値を高めていく DX の実現」に向けて動き出している。また、このような動きを政府が後押ししており、デジタル庁なる組織の設立も目指されている。

この DX の推進は、大学も例外ではなく、昨今の遠隔授業や教育への ICT のさらなる利活用だけではなく、ICT を活用した学生サービスの強化や経営の効率化、データ活用の促進など、DX 戦略の策定とデジタルネイティブ組織への変革が必要となってきている。一方世の中では DX の推進により、新たな社会的課題が生じて法制度のあり方が急速に変化している。この DX の推進では、様々な法分野を多角的に考慮する必要のある場面も増えてきている。

そこで、本年度のシステム技術分科会 2020 年度会合では、法律の遵守の下で戦略的に DX を推進していくために「DX 時代の、真のデジタル化に向けて ～法律面を含む諸問題の検討～」をテーマとし、大学で推進する DX で遵守すべき法律や、またそのことによる制約の課題について議論を行いたい。

■ プログラム：(予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい)

※詳細資料は Web サイトからダウンロード願います。－敬称略－

9:00～	ウェビナー接続開始
9:05～9:10	開催趣旨説明 (福岡大学 藤村 丞)
9:10～9:45 (講演 35 分)	[1] 「教育のデジタル化の法的課題」 湯浅 壘道 (情報セキュリティ大学院大学副学長・情報セキュリティ研究科教授)
9:45～10:20 (講演 35 分)	[2] 「プロバイダの責任」 丸橋 透 (明治大学 法学部教授)
10:20～10:55 (講演 35 分)	[3] 「ブロックチェーンの活用可能性とその法的意義—今後のための問題点の提示—」 原 謙一 (西南学院大学 法学部准教授)
10:55～11:15	休憩 (20 分)
11:15～12:35 (パネルディスカッション 80 分)	パネルディスカッション： 「DX 時代の、真のデジタル化に向けて ～法律面を含む諸問題の検討～」 モデレータ：上繁 義史 (長崎大学) パネリスト：湯浅 壘道 (情報セキュリティ大学院大学) パネリスト：丸橋 透 (明治大学) パネリスト：原 謙一 (西南学院大学)

■ 参加方法

開催日前にお申込みいただいた方へ事務局から、ZOOM ミーティングの URL、ID 等をお知らせいたします。

(裏面に続く)

■ ご参加について

- 参加対象 : SS 研会員機関にご所属の方はどなたでもご参加いただけます。
※CS 研、IS 研の会員の方も可
- 参加費 : 無料です。

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】 サイエнтиフィック・システム研究会 (SS 研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通株式会社 カスタマーリレーション部内
TEL : 03-6252-2582 (直通)
Email: fj-ss-staff@dl.jp.fujitsu.com
URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>